

2025年1月12日(日)

日本キリスト教団 ^{きゅうほうきょうかい}久宝教会

第67巻第42号(通算3424号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

週報

教会標語

ちい 小 さ く さ れ て い る 人 を ^{ひと}
たいせつ 大切 に す る 教 会 ^{きょうかい}



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

神はこの世を大切に思い、ひとり子を差し出した。ひとり子に信頼をもってあゆみを起こす人が
みな、滅びることなく、永遠のいのちを得るようになるためである。(ヨハネによる福音書3:16)

降誕節

第3主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

ぜんそう もくとう 前奏(黙祷) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば 招きの詞 サムエル記(上) 16章 7節

さんびか 賛美歌 21-367番「偉大なみ神の」(©著作権消滅)

せいしよ 聖書 マタイによる福音書 3章 16-17節

いの お祈り

さんびか 賛美歌 21-277番「罪なき神の子」(©JASRAC)

メッセージ 「まじ BIG LOVE」 水谷 憲 牧師

さんびか 賛美歌 21-481番「救いの主イエスの」(©著作権消滅)

しゅいの 主の祈り 21-62番「天にいます わたしたちの父」(©讚美歌改訂委員会)

ささげもの 献げ物(*)

はけん 遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

しゅくふく 祝福 水谷 憲 牧師

こうそう 後奏 アーメン コーラス (21-40-6番)(©教団讚美歌委員会)

ほうこく 報 告 (4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物(献金)」は、受付にある献金箱にお献げください。

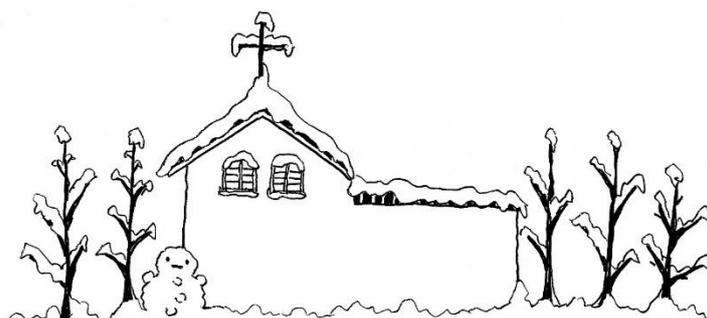
招きの詞 サムエル記（上） 16章^{しやう} 7節^{せつ}（聖書協会共同訳©日本聖書協会）

主はサムエルに言った。「容姿や背丈^{せたけ}に捕らわれてはならない。私は彼を^{しりぞ}退ける。私は人が見るようには見ないからだ。人は目に映るところを見るが、私は心を見る。」

聖書 マタイによる福音書^{ふくいんしよ} 3章^{しやう} 16-17節^{せつ}（聖書協会共同訳©日本聖書協会）

¹⁶ イエスは洗礼(バプテスマ)を受けると、すぐに水から上がられた。すると、天が開け、神の霊^{はと}が鳩のようにご自分の上に降って来るのを御覧になった。¹⁷そして、「これは私の愛する子、^a私の心に適う者」と言う声が、天から聞こえた。

（脚注 a：直訳「私はこれを喜ぶ」）



《先週のメッセージより》2024年1月5日 新年礼拝

「歓迎されない訪問者」

牛田匡牧師

聖書 マタイによる福音書 2章 1-15節

私たちがクリスマス物語を「神の子イエス様は、神の身分でありながら、へりくだってベツレヘムの飼い葉桶の中にお生まれになったが、その後はずっと神の人として清く尊く生きられた」として理解する時、尊い神の人は、神殿の奥の方の聖域にいまして、庶民は遠くから遥拝するのみ。そしてその恵みや祝福を、いわば「おこぼれ」のような形で頂くだけ、となってしまうのではないでしょうか。聖書に記されている一連のクリスマス物語から私たちが受け取るメッセージは、そうではありません。世間から「歓迎されない訪問者」として、イエス様の両親マリアとヨセフはベツレヘムにやって来て、イエス様自身も居場所すら与えられずに生まれて来ました。そしてそこには世間から除け者にされていた羊飼い達がやって来ただけではなく、忌み嫌われていた東国の怪しい占い師・呪術師たちがやって来しました。皆、「歓迎されない訪問者」たちでした。神様は「歓迎されない訪問者」として、私たちの前に現れます。そしてそれは神様の価値観、イエス様の目がどこの誰に注がれているかを、私たちに示してくれます。また私たち自身が、たとえ他人から歓迎されない時であっても、神様がいつも隣に共にいて下さることを示してくれます。クリスマスに人間としてお生まれになった「インマヌエル（私たちと共におられる神）」は、神殿の奥に鎮座ましまし、高価な献げ物のみを喜ばれ、そのお返しとして祝福を与えて下さるような方ではありません。

昨年のお正月に、石川県能登半島で大きな地震が起こり、その後も豪雨の災害も続きました。あれから一年が経ちましたが、まだまだ復旧作業が手付かずの所も多くあるようです。またロシアとウクライナの戦争、イスラエルとガザ、シリアとの戦争も終わりが見えない状況が続けられています。私たちの暮らしているこの世界には、目を向けたくないこと、歓迎したくない現実がたくさんあります。それらに目を背けて、自分にとって心地よいこと、見たいものだけを見ている時、神様はどこにいらっしゃるのでしょうか。「歓迎されない訪問者」として私たちが目を背け、追い返してしまっている人たちの中に、神様はおられるのかもしれませんが。今年一年も、神様の目と心がどこに注がれているか、私たちは神様の御心を尋ね求めながら、日々、命の神と共にあって、生かされて参ります。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 2025年1月5日 新年礼拝

礼拝出席 大人4名 献金 大人4,000円 中継視聴者数27回 感謝

◎次週 2025年1月19日(日) 降誕節 第4主日礼拝

招きの詞 エゼキエル書 2章 1-2節

聖書 マタイによる福音書 4章 18-25節

メッセージ 「私と一緒に来て下さい」牛田匡牧師

賛美歌 21-459番(©編集委)、21-516番(©JASRAC)、21-418番(©讚美委)

礼拝後に、釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」を致します。どなたでもどうぞ参加ください。また献品も随時、歓迎いたします。

◎お知らせ

- ・本日、礼拝後に、1月期の「教会を考える会」を行う予定です。
- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。
- ・次週1月19日(日)14時~16時半にかけて、大阪福島教会(JR環状線・福島駅下車徒歩5分)にて、大阪教区心なごむ会主催の公開講演会が開催されます。講師は崔炯仁(ちえ・ひょんいん)さん(いわくら病院院長)で、テーマは「外傷的な育ちの生きづらさに光を届けるメンタライジング」です。参加費は300円で、事前申込は不要です。以下、講師からのメッセージ。「幼少期の被虐待や離別などの外傷的な養育体験は、その人が大人へと成長した後も心身や対人関係の持ち方に様々な影響を及ぼし、愛着外傷(アタッチメント・トラウマ)と呼ばれます。いつの世も変わらず、心の外傷には必ず「ひとりぼっちだ」という孤立の感覚が伴います。愛着外傷の中でうまく育たないのが「メンタライジング(自分や他者の気持ちを理解する・理解しようとする心の働き)」です。そして治療や支援を通じて、それを育て直そうとするのがメンタライジング・アプローチです」。どうぞ、どなたでもご参加ください。
- ・1月17日(金)18時から「兵庫県南部大地震記念の日追悼礼拝」が神戸教会にて開催され、オンラインでも中継配信されます。下記のURLよりYouTubeにアクセス下さい。(礼拝の式次第は日本基督教団兵庫教区のウェブサイトで礼拝の数日前からダウンロードして頂けます)。

<https://www.youtube.com/watch?v=7JuVRB1IDP8>

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
1/19	牛田匡牧師	おにぎり支援
1/26	池田優希牧師 (八尾教会)	河内地区有志教会講壇交換礼拝 誕生者祝福式 河内地区女性会(@久宝教会) (14時~ 久宝教会・牛田牧師)
2/2	牛田匡牧師	ユークリスト・教会を考える会
2/2	永富美加牧師 (いずみ教会)	(信教の自由を守る日) 「労伝デイ」講壇交換礼拝

大阪教区 心なごむ会公開講演会 2024

外傷的な育ちの生きづらさに光を届ける メンタライジング

幼少期の被虐待や離別、過剰な支配など外傷的な養育体験は、その人が大人へと成長した後も心身や対人関係の持ち方に様々な影響を及ぼし、愛着外傷(アタッチメント・トラウマ)と呼ばれる。近年の日本社会でも、「メンタライジング」や「宗教二世」と呼ばれる人々など、これまで見えなかった「愛着外傷」が時代とともに顕在化しています。いつの世も変わらず、心の外傷には必ず「ひとりぼっちだ」という孤立の感覚が伴います。愛着外傷の中でうまく育たないのが、「メンタライジング(自分や他者の気持ちを理解する・理解しようとする心の働き)」です。そして治療や支援を通じてそれを育て直そうとするのが、メンタライジング・アプローチです。「宗教二世」(「愛着外傷」)が持つのは、愛着外傷の中で育たないのが「メンタライジング(自分や他者の気持ちを理解する・理解しようとする心の働き)」です。そして治療や支援を通じて、それを育て直そうとするのがメンタライジング・アプローチです。どうぞ、どなたでもご参加ください。

講師 崔 炯仁氏 ちえ ひょんいん



1970年、京都市生まれ。在日コリアン3世。54歳
1995年、京都府立医科大学医学部卒、精神科医。2009年ロンドン大学留学中、日本の臨床家で初めてメンタライジングの研修を受けた。2011年、日本基督教団新大阪のケアチームリーダー。2013年、いずみこ病院、摂生療育センター、精神科救急病棟を立ち上げる。
2024年、いわくら病院 院長
著書「メンタライジングでガイドする外傷的な育ちの克服」
訳書「メンタライジングによる家族との距離」2024
経歴、著書、講演スケジュール、病院フェスで働いています。

日時: 2025年1月19日(日)午後2時~4時30分
場所: 日本基督教団 大阪福島教会 〒530-0026 大阪市福島区福島7-19-16



JR環状線福島駅の改札を出てすぐ左側に向かいます。その直ぐの道を渡って、三つ目の信号を左折します。その直ぐの道が見えます。愛着外傷が顕在化しています。徒歩で歩きます。
左の道では行き先がわかりません。

◆参加費 300円
◆ご来場には、公共交通機関をご利用ください

問い合わせ先
大阪教区事務局
(電話) 06-6761-8562
担当人 井上由品
(電話) 090-2015-2887
担当人 申 英子
(電話) 090-3829-7855